

# 激励しながら 運動の拡大を

7月9日に、串間市で牛の一貫経営を行っている農民連組合員と対話して来ました。

はじめに、「大変なことになったね。殺処分された畜産農家の事を考えると胸が苦しい」と話されました。「私は、肥育牛もいるから、一時的に出荷できなかつたけど、殺処分された方よりはいい。しかし、枝肉価格が1kg200~400円下がったから、1頭当たり約10~20万円減です。今までこんな事はなかった。」と厳しい顔で話され、「うちが頼んでいる畜産経営のコンサルタントは、『殺処分された農家から毎日のように泣きながら電話が来ている。そして、補償内容も厳しいし、精神的な事をまで考えると、70%が再開をしたいと報道があるけど、現実には40%くらいではないだろうか。』と言っていた」と話されました。

私は、殺処分された農家の話を伝え、事務局団体でネットワークを結成して、口蹄疫の被害救済を国・県へ要請してたかっている事を話してきました。

## ぽっかりと空いた、こころと畜舎の中

7月8日に、日向市の繁殖農家に会いに行ってきました。はじめに、「なにも残ってない」と涙を流しながら、「やっと、最近起きてこれるようになった」と奥さんの方は話されます。旦那さんは「しょうがない。だけど、可哀想やった」と悲しそうに話されました。対話をする中で奥さんは泣きながら笑顔で、冗談を言ってくれます。それが、「私は元気よ」と無理しているようで、今でも、その笑顔が目を開じると移ります。

2件目(日向市)・3件目(高鍋町)の繁殖農家では、知人の畜産農家の話もされ、それが全く同じ内容でした。「殺処分の前日に産まれた仔牛が、まだ、うまく立つことが出来なくて、その知人はトラックの助手席に仔牛を抱っこして埋却地へ連れて行った」と言う、胸をえぐられるような話でした。

## 全国のみなさん、「宮崎のお肉を食べて支援」にご協力頂き、ありがとうございます

6月25日の初注文をかわきりに、現在26件のご注文をいただきました。「宮崎のお肉を食べて支援」には、代金の一部は義援金に充てられます。義援金について、県・自治体へ届けていくなどの討議を重ねていますが、県・自治体が取り組んでいる義援金は、畜産農家に限定される可能性が高いため、早急に結論を決めずに各団体で討議を行っています。

### 感想の紹介(農民運動全国連合会・吉川さん)

味よし、荷姿よし、価格よしの三拍子そろった宮崎和牛でした。宮崎支援で呼びかけた宮崎和牛でしたが、予想以上の出来にびっくり、事務所についてお肉を見たたん「もう少し頼めば良かった」との声も、「家族で3パックもべろり」「こんなに美味しいお肉久しぶりね」「脂身もおいしい」「塩コショウだけでも本当においしい」など、第2弾も30パック近くの注文が集まり、評判を裏付ける結果になりました。

「宮崎のお肉を食べて支援」は、8月いっぱい注文を受け付けています。引き続き、みなさんのご協力をよろしくお願い致します。



口蹄疫対策県民ネットワーク(事務局)  
〒880-0911 宮崎市大字田吉158番地  
宮崎県農民組合連合会内  
TEL0985-55-0399